

令和元年度
石岡みらい創造プラン
施策評価シート

施策の大綱

【基本理念】 【将来像】

【政策目標】

【基本施策】

人が輝く

安全・安心

共生・協働

誰もがいきいきと暮らし輝くまち いしおか

誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
(都市基盤) P1~10

- ◆ 駅周辺・市街地の整備
- ◆ 公共交通機関の充実
- ◆ 道路の整備
- ◆ 計画的な土地利用の推進
- ◆ 下水道の整備
- ◆ 公園・緑地の整備
- ◆ 住宅の整備
- ◆ 地域に調和した景観の整備

豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
(産業・経済) P11~15

- ◆ 企業誘致の推進・工業の振興
- ◆ 商業の振興・中心市街地の活性化
- ◆ 農林業の振興
- ◆ 観光業の振興

人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
(生活・環境) P16~25

- ◆ 交通安全の推進
- ◆ 防犯対策の充実
- ◆ 消費生活の安全確保
- ◆ 省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進
- ◆ 上水道の整備
- ◆ 循環型社会の構築
- ◆ 環境保全の推進
- ◆ 協働によるまちづくりの推進

災害に強く安心して暮らせるまちへ
(消防・防災) P26~30

- ◆ 消防・救急体制の充実
- ◆ 防災機能の整備・強化
- ◆ 防災体制の充実
- ◆ 地域防災力の向上

健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
(健康・福祉) P31~40

- ◆ 健康づくりの推進
- ◆ 地域医療の充実
- ◆ 子育て環境の充実
- ◆ 高齢者福祉や介護予防の充実
- ◆ 障がい者福祉の充実
- ◆ 地域福祉の充実
- ◆ 生活困窮者等の自立支援
- ◆ 社会保障制度の安定した運営

歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
(教育・文化) P41~49

- ◆ 創意ある学校教育の推進
- ◆ 学校施設の整備・充実
- ◆ 生涯学習の推進
- ◆ 生涯スポーツの推進
- ◆ 文化・芸術の推進
- ◆ 青少年の健全育成
- ◆ 歴史・文化財の保護・活用

時代の変化に的確に対応できるまちへ
(行政運営・経営) P50~59

- ◆ 積極的な情報発信と対話の充実
- ◆ 庁舎の整備・行政サービスの充実
- ◆ 地域情報化の推進
- ◆ 広域行政の推進
- ◆ 男女共同参画の推進
- ◆ 国際交流の推進
- ◆ 人材育成の強化
- ◆ 行財政改革の推進

施策評価シートの読み方

政策	
基本施策	作成対象施策の基本情報 ・ 施策体系のどこに位置づくものか、具体的にどのような取り組みをしているかを記載しています。
具体的取り組み例	

1 総括評価

B	総括評価 ・ 平成30年度末時点の内容を以下の主要事業の概要、成果指標、市民満足度調査から読み取り、どのような評価をしているかを記載しています。
	評価コメント 評価基準 A・・・成果が認められ、順調。 B・・・若干課題や問題があるが、概ね順調。 C・・・一部成果は認められるものの課題や問題があり、改善が必要。 D・・・成果が認められず、廃止も含めた見直しが必要。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性 今後の方向性 ・ 成果を踏まえ、今後の方向性や改善点等を記載しています。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
	主要事業の概要 ・ 構成する事務事業の成果と今後の方向性を記載しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
	成果指標 ・ 石岡ふるさと再生プランに記載している成果指標の達成状況を記載しています。				

4 市民満足度調査

	市民満足度調査 ・ 市民満足度調査の3カ年分の満足度重要度の推移を記載しています。 ・ いずれも5点満点で調査しています。
--	---

01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 駅周辺・市街地の整備	B	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に、西口駅前広場とBRT駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。	更なる賑わいづくりのため、駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。
2 公共交通機関の充実	C	少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直されているものの、主要な移動手段は自家用車が多く、公共交通機関の利用者は減少しています。現在は乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助金を支援していますが、今後は公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通網を形成していく必要があります。	既存の補助事業に加え、持続可能な交通網を形成するために、交通事業者及び近隣自治体等と連携し、移動手段の再考と利用促進を進める必要があります。
3 道路の整備	B	幹線道路の整備については、既に完了した2路線を除く4路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。また、既存道路の改良・拡幅整備のほか、狭あい道路等の整備についても、限られた予算の中で必要性や緊急性の高い箇所から安全性の確保へ向けて整備を行っています。	道路の整備については、国や県の補助金等を活用しながら整備を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅等についても、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に事業を推進していく。
4 計画的な土地利用の推進	B	本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて平成29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定しました。	マスタープランそして立地適正化計画を羅針盤として、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。
5 下水道の整備	B	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道ストックマネジメント計画(平成30年3月策定)に基づき、下水道施設のストック調査を行うことができました。	下水道の効率的な整備を進めると共に、ストック調査結果に基づき、計画的に下水道施設の改築、長寿命化を進めていきます。

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	<p>公園施設の中で、最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度に工事を実施したため、以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は計画に基づき工作物などの長寿命化工事を実施しております。</p>	<p>公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続き募集を募り公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。</p>
7住宅の整備	B	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯、子育て世帯、新婚世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が3～4割前後で推移しています。</p>	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>
8地域に調和した景観の整備	B	<p>開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの、住民参加型まちづくりファンド支援事業は目標値を超えており、市内における適正な土地利用及び中心市街地や先導的な景観形成地区における修景事業の実施に関しては比較的高い水準を維持していることから、秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ていると言えます。</p>	<p>目標に対する成果水準をより高くするには適切な行政指導と効率的な事業運営が求められることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅周辺の整備・バリアフリー化，ステーションパークの充実

1 総括評価

B	総括評価
	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に、西口駅前広場とBRT駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	更なる賑わいづくりのため、駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

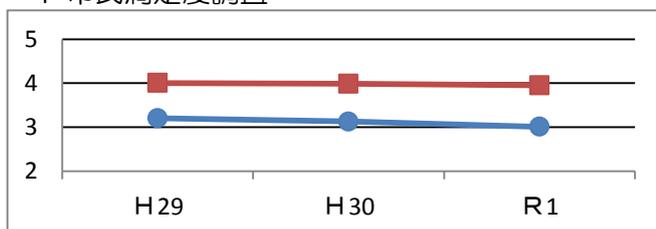
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ステーションパーク活用事業【都市計画課】	関係部署との連携，調整を図り，施設利用者の利便性向上に努め，石岡ステーションパークの維持管理を行っていきます。
石岡駅周辺整備事業【都市計画課】	石岡駅橋上化，東西自由通路，西口駅前広場及びBRTターミナル等の整備が完了し，今後は鹿島鉄道跡地の利用計画を検討します。
駐車場管理運営経費【都市計画課】	駅周辺の市営駐車場については，高齢化社会を踏まえ，ゆとりある駐車スペースの確保を図り，利用しやすい駐車場を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅周辺整備事業のバリアフリー化率	%	98.0 (H29)	100	98.00
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人/日	7,498 (H29)	7,700	7,265
石岡市営駅東駐車場利用率	一日平均利用台数/駐車可能台数	%	75.1 (H29)	78	67.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.21	4.01
平成30年度調査	3.13	3.99
令和元年度調査	3.01	3.95

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助

1 総括評価

<h1>C</h1>	総括評価
	<p>少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直されているものの，主要な移動手段は自家用車が多く，公共交通機関の利用者は減少しています。現在は乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助金を支援していますが，今後は公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通網を形成していく必要があります。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>既存の補助事業に加え，持続可能な交通網を形成するために，交通事業者及び近隣自治体等と連携し，移動手段の再考と利用促進を進める必要があります。</p>

2 主要事業の概要

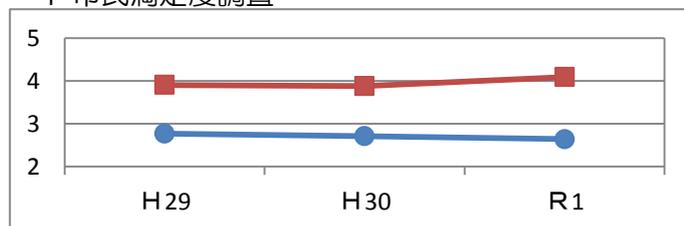
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【都市計画課】	移動制約者への移動手段の提供はできている。運行方法や利用方法を検討し，情報誌等への広報をすることで，更なる利用促進を図る必要がある。また，経費の削減を踏まえつつ，住民と協力した利用促進活動の実施と効率的な運行を一緒に実施する必要がある。
通勤・通学支援事業【政策企画課】	住み続けながら通勤・通学できる環境整備を進めるとともに，市民に利用しやすい補助制度を構築していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,777 (H28)	8,000	7,794
通勤・通学に対する支援により転出抑制につながった人数(累計)	支援制度利用者アンケートで，当該支援により市外への転出を思いとどまったとの回答者数	人	0 (H29)	50	38

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.77	3.91
平成30年度調査	2.71	3.88
令和元年度調査	2.64	4.09

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	03道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良, 拡幅整備, 維持管理, 補修, 上曽トンネルの整備

1 総括評価

B	総括評価
	幹線道路の整備については、既に完了した2路線を除く4路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。また、既存道路の改良・拡幅整備のほか、狭あい道路等の整備についても、限られた予算の中で必要性や緊急性の高い箇所から安全性の確保へ向けて整備を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	道路の整備については、国や県の補助金等を活用しながら整備を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅等についても、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に事業を推進していく。

2 主要事業の概要

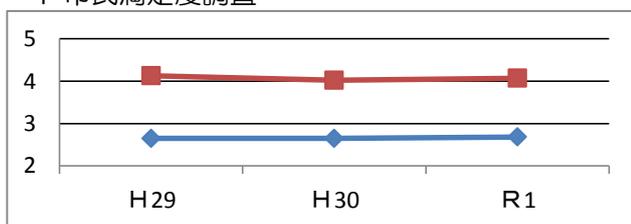
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画課】	合併支援道路を6路線整備しています。今後も補助金や交付金等を活用しながら、全体的な整備ではなく事業効果上がる区間を重点的に整備していきます。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	本事業における狭あい道路の解消は局地的ですが、道路交通の安全が向上して居住環境が改善することにより、法令順守に対する住民への周知、啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
道路整備率	合併支援道路整備率(6路線)	%	45.5 (H28)	56	45.9
狭あい道路事業実施延長	拡幅整備した道路延長	m	184 (H28)	150	222.64
地方道路等整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	14,027 (H29)	21,000	1,296
道路ストック点検実施延長	道路舗装修繕事業による整備延長	m	3,425 (H29)	4,125	500
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	17 (H29)	34	2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.65	4.13
平成30年度調査	2.65	4.02
令和元年度調査	2.68	4.07

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O4計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

B	総括評価
	本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて平成29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	マスタープランそして立地適正化計画を羅針盤として、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。

2 主要事業の概要

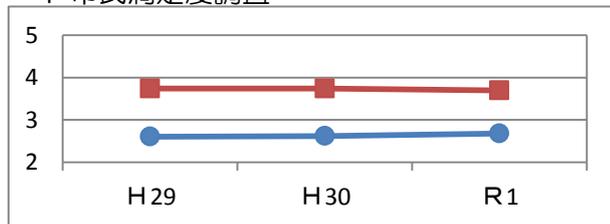
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費【都市計画課】	都市計画の健全な発展と秩序ある整備を図るため都市計画法に基づく審議会であり、都市計画法、条例に基づき適正に運営していきます。
都市計画一般経費【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき、土地利用の効率化を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	9 (H29)	2	4
市街化区域内土地利用効率	市街化区域内における都市的土地利用効率	%	80.7 (H28)	81	80.7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.61	3.74
平成30年度調査	2.62	3.74
令和元年度調査	2.68	3.70

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	05下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，合併浄化槽の補助

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。 また，下水道ストックマネジメント計画(平成30年3月策定)に基づき，下水道施設のストック調査を行うことができました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	下水道の効率的な整備を進めると共に，ストック調査結果に基づき，計画的に下水道施設の改築，長寿命化を進めていきます。

2 主要事業の概要

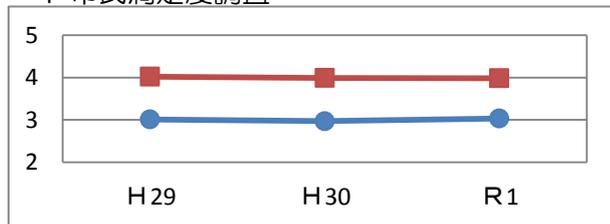
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道事業会計（総括） 【下水道課】	現状を鑑み，整備計画を見直しを行い，中継ポンプ場や処理場だけでなく，管渠，マンホールポンプ等を含めた下水道施設のストック調査を行い，適正な施設の維持管理，長寿命化に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括） 【下水道課】	未接続者及び宅地内工事業者に平成30年度から新たに県で拡充した接続制度等の情報発信，未接続者への個別訪問等による接続依頼を継続し，接続向上に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	84.8 (H29)	90	87.0
水洗化普及率（下水道）	水洗化済人口／処理区域人口	%	85.4 (H29)	90	85.3
水洗化普及率（農業集落排水）	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	64.5 (H29)	66	67.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.01	4.02
平成30年度調査	2.97	3.99
令和元年度	3.03	3.98

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	公園施設の中で、最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度に工事を実施したため、以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は計画に基づき工作物などの長寿命化工事を実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続き募集を募り公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

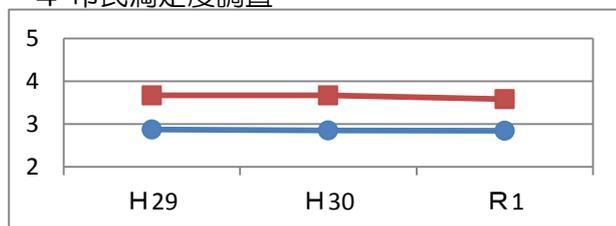
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
公園維持管理経費【都市計画課】	公園長寿命化計画を進めながら、予防保全型維持管理への転換を積極的に図る。
桜つつみ維持管理経費【まちづくり協働課】	利用者の安全と、機能保持のため計画的な補修が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
石岡市公園里親団体数	石岡市公園里親制度への加入団体数	団体	3 (H28)	3	5
石岡市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新公園数	石岡市公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園数	箇所	15 (H29)	26	15

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.87	3.67
平成30年度調査	2.85	3.67
令和元年度調査	2.84	3.58

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	07住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修、木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在計画的な改善事業が進められています。 また、高齢者世帯、子育て世帯、新婚世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が3～4割前後で推移しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。

2 主要事業の概要

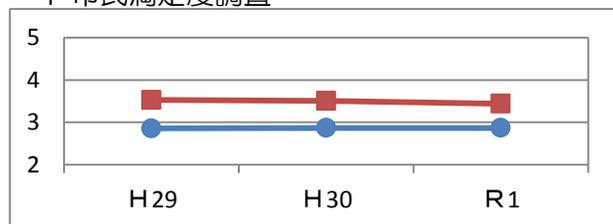
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次、改修工事を実施します。また、現計画が最終年度をむかえたため、次期計画を策定します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから、事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について、市民への周知徹底を図るとともに、高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の住居の安定に努めます。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり、主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため、事業継続が望ましいと考えられます。
空家等対策事業【建築住宅指導課】	当事業により石岡市空家バンクの活用を促進することで、市内に存する使用可能な空家の再利用を促すことは、空家が周辺の住環境に及ぼす悪影響を未然に防止するのみならず、市の定住人口の増加に寄与するものと言え、上位目標達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	24 (H29)	30	3
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	12 (H29)	30	9

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.86	3.53
平成30年度調査	2.87	3.51
令和元年度調査	2.87	3.44

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの、住民参加型まちづくりファンド支援事業は目標値を超えており、市内における適正な土地利用及び中心市街地や先導的な景観形成地区における修景事業の実施に関しては比較的高い水準を維持していることから、秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ていると言えます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	目標に対する成果水準をより高くするには適切な行政指導と効率的な事業運営が求められることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

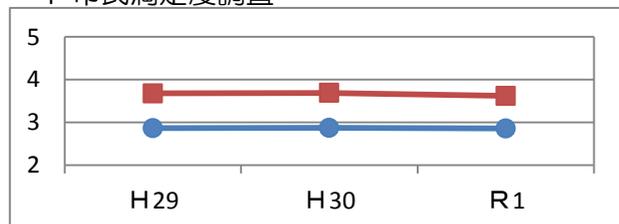
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
景観形成事業 【都市計画課】	中心市街地や先導的な景観形成地区において、修景事業の実績が上がってきているため、今後も取り組みを推進してまいります。
宅地開発指導経費 【建築住宅指導課】	現状の完了検査率は高い水準にあり、今後も引き続き完了検査受検に関する啓発を目的としたリーフレットの作成・配布や、電話・文書等による催促、現地パトロールを実施することにより、目標に対する達成水準の維持に努めます。
建築指導事業 【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており、上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
住民参加型まちづくり ファンド支援事業	事業の実施件数	件	1 (H29)	2	3
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	70.97 (H28)	85	80.8

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.86	3.68
平成30年度調査	2.87	3.69
令和元年度調査	2.86	3.62

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 企業誘致の推進・工業の振興	B	<p>圏央道の県内区間全線が開通するなど、石岡・小美玉SICを活用して首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成され交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングや就職説明会を開催するなど、労働力の確保に努め、成果指標目標を概ね達成しました。</p>	<p>地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、誘致先の確保、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。</p>
2 商業の振興・中心市街地の活性化	B	<p>商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっており、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、石岡ステーションパークを活用した飲食店出店により、一定の成果を上げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。</p>	<p>情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。</p>
3 農林業の振興	B	<p>農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、魅力アップ、ブランドアップに期待が持てます。新規就農者支援については、市独自の研修制度などを活用し、担い手確保に取り組んでいます。また、農村環境の維持・保全のため、地域ぐるみでの取り組みを推進します。農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、生産効率の向上や耕作放棄地の解消に寄与しています。</p>	<p>高品質果樹のPRを継続するとともに、果樹生産の後継者確保・育成を行っていきます。また、農地の面的集約による生産効率の向上を促進し、儲かる農業を目指します。</p>
4 観光業の振興	B	<p>平成30年度に第2次石岡市観光振興計画を策定し、10年間の観光振興の方向性を決定しました。これまでの観光振興計画（後期計画）で定めた目標値1,500千人には達しませんでした。平成29年の入込客数は1,433千人となり、微減ながら概ね横ばいとなっています。</p>	<p>第2次石岡市観光振興計画に基づく官民一体となった事業展開に加え、令和3年度には、フラワーパークのリニューアルオープン等により、更なる誘客と地域経済の発展を図ります。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化，就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

B	総括評価
	圏央道の県内区間全線が開通するなど、石岡・小美玉SICを活用して首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成され交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングや就職説明会を開催するなど、労働力の確保に努め、成果指標目標を概ね達成しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、誘致先の確保、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。

2 主要事業の概要

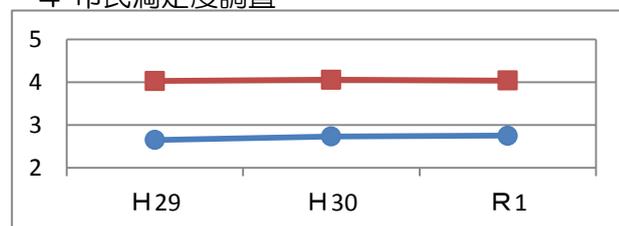
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	柏原工業団地を中心とした立地促進だけでなく、既存企業の事業拡大及び撤退抑止など、企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業【商工課】	目標には達していないものの、この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も、若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
新増設企業誘致数	既存企業の増設・新規企業誘致件数	数	1 (H28)	8	2
有効求人倍率	ハローワーク石岡管内における石岡市の有効求人倍率	-	0.71 (H28)	1.00	1.13
就職相談会、面接会の参加者数	企業の就職相談会及び面接会の参加人数	人	57 (H28)	120	61

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.65	4.03
平成30年度調査	2.73	4.06
令和元年度調査	2.75	4.04

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっており、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、石岡ステーションパークを活用した飲食店出店により、一定の成果を上げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。

2 主要事業の概要

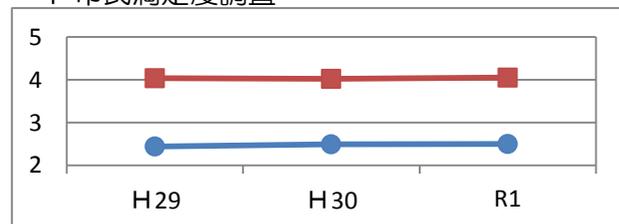
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中心市街地活性化事業補助金【商工課】	中心市街地活性化基本計画（第2期）の中で、見直しが必要な事業については、事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また、新規事業として、これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして、これらの事業計画により、1コンパクトな都市機能づくり、2住み続けられるまちづくり、3賑わいの導線づくり、4商業振興と地域資源みがき、5まちなか観光の推進の実現に向けた事業に取り組んでいきます。
商工振興事業【商工課】	関係団体等と協力し、魅力ある商店街の創出を検討し、交流人口の拡大を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	3,985 (H28)	4,880	3,861
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	2,283 (H28)	2,800	1,896
空き店舗等活用支援事業費補助金認定件数	空き店舗等活用支援事業費補助金の店舗改修費認定件数（累計）	件	11 (H29)	16	11
創業者件数（累計）	創業支援事業計画の目標数値	件	4 (H28)	10	4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.44	4.03
平成30年度調査	2.49	4.02
令和元年度調査	2.50	4.05

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援，鳥獣被害総合対策

1 総括評価

B	総括評価
	農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、魅力アップ、ブランドアップに期待が持てます。新規就農者支援については、市独自の研修制度などを活用し、担い手確保に取り組んでいます。また、農村環境の維持・保全のため、地域ぐるみでの取り組みを推進します。農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、生産効率の向上や耕作放棄地の解消に寄与しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	高品質果樹のPRを継続するとともに、果樹生産の後継者確保・育成を行っていきます。また、農地の面的集約による生産効率の向上を促進し、儲かる農業を目指します。

2 主要事業の概要

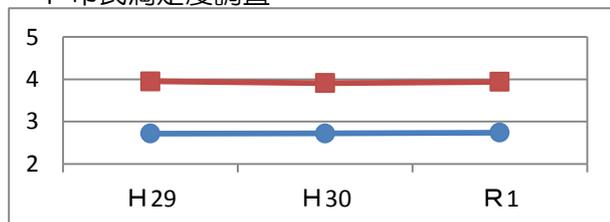
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新規就農者支援対策経費【農政課・農業委員会事務局】	これまで以上に積極的なPR活動を展開し、新たな就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）、朝日里山ファームの研修システムを活用して支援してまいります
農力アップ推進事業【農政課】	県外において局地的なPRを実施しており、一定の「知名度アップ」は図られていると考えられる。今後は、「魅力アップ」、「ブランドアップ」に注力し、継続した事業の運営が必要とされる。
多面的機能支払交付金事業	農村環境の維持・保全のため活用すると共に、地域ぐるみの取組みを推進します。
農地中間管理事業【農政課】	農家・担い手に対する働きかけを継続し、事業の拡大を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
新規就農（林）者数	市内で新たに自営農業就農者等になった人の累計人数(H20以降)	人	78 (H28)	130	102
直売売上額	直売による売上額	百万円	1,100 (H28)	1,220	1,103
多面的機能支払交付金事業活動組織数	多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織数	組織	32 (H29)	36	34
農地中間管理機構への貸付農地面積	農地中間管理機構へ貸し付けられた農地の累計面積(H27以降)	ha	80 (H29)	120	126

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.71	3.95
平成30年度調査	2.72	3.91
令和元年度調査	2.74	3.94

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	平成30年度に第2次石岡市観光振興計画を策定し、10年間の観光振興の方向性を決定しました。 これまでの観光振興計画（後期計画）で定めた目標値1,500千人には達しませんでした。平成29年の入込客数は1,433千人となり、微減ながら概ね横ばいとなっています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	第2次石岡市観光振興計画に基づく官民一体となった事業展開に加え、令和3年度には、フラワーパークのリニューアルオープン等により、更なる誘客と地域経済の発展を図ります。

2 主要事業の概要

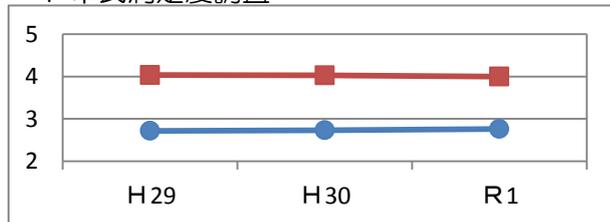
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
観光対策経費【観光課】	観光客の満足度向上を図るため、魅力ある観光地域づくりを推進するとともに、戦略的な情報発信を進めていきます。また、持続可能な観光産業を育成するための施策を実施していきます。
筑波山地域ジオパーク推進事業【観光課】	筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ、他の観光事業とも連携した新たな取組を進める必要があります。
都市交流推進事業【政策企画課】	東京圏への情報発信を積極的に実施し、移住及び二地域間居住の取り組みを推進することができています。また、交流がある都市からのスポーツ合宿が実施されるなど、都市交流の成果が見られます。 今後の方向性について、交流促進事業の参加人数増加を目指し、近隣市や県と連携した取組を継続するとともに、効果的な情報発信をしていくことが必要となります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	1,475,600 (H28)	1,700,000	1,433,000 (H29実績)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.72	4.03
平成30年度調査	2.73	4.03
令和元年度調査	2.76	4.00

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1交通安全の推進	A	交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んでいるといえます。	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。
2防犯対策の充実	B	防犯灯の設置等が進んでおり、刑法犯罪件数の減少も見られることから、安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。
3消費生活の安全確保	B	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。	市民生活の安定及び向上を目指します。
4省エネの推進・新エネルギー導入促進	B	環境に配慮した新庁舎は、太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを活用し、消費電力の低減を図っています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。	省エネルギーの推進では、省エネ・節電についての意識啓発に取り組み、尚一層の推進を図ります。
5上水道の整備	B	今年度、石岡市水道事業中長期基本計画を柱とし、水道事業ビジョン、水道事業経営戦略を策定しました。今後は、本計画に基づき、事業の運営を進めて参ります。また、有収率について、漏水調査により、漏水の早期発見、早期修繕を継続して実施しております。今年度、大小合わせて90件超の漏水修理を行いました。漏水発生頻度は増加傾向にあり、有収率はわずかな減少となりました。	水道施設について、老朽化がみられる機械電気設備を中心に更新を実施し、また、耐震性が不明な施設について耐震診断を行い状況把握に努めます。管路については、民地に埋設された管路を優先し更新して参ります。

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6循環型社会の構築	B	<p>環境監視員の活動等により，不法投棄の早期発見につながっています。</p> <p>1人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について，周知方法や取り組みを検討していきます。</p>	<p>更なるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報紙を含めた啓発の充実を図っていきます。</p>
7環境保全の推進	B	<p>河川水質等の分析，公害等の各種調査・分析を行っており，現状の検査結果等で異常値はなく，環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。身近なみどり整備推進事業では，計画時早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林は現状をみながら進めざるを得ない状況です。空家等対策事業では，所有者等への啓発の他，特定空家等の認定及び指導を進めています。</p>	<p>水質浄化の啓発と共に生活排水を処理できる環境を整える必要があります。荒廃した森林の間伐や県森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。空家等利活用による発生抑制の推進が必要です。</p>
8協働によるまちづくりの推進	B	<p>石岡市協働のまちづくり条例施行後，市民満足度は向上しており，一定の成果を上げているといえます。</p>	<p>常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	安全で安心な道路・歩道環境の整備

1 総括評価

	総括評価
	交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んでいるといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

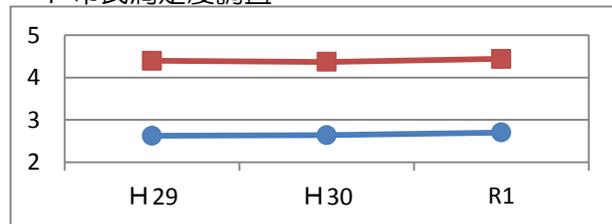
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費【まちづくり推進課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性や緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	3 (H28)	0	4
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	257 (H28)	210	206

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.62	4.40
平成30年度調査	2.64	4.37
令和元年度調査	2.70	4.44

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

B	総括評価
	防犯灯の設置等が進んでおり，刑法犯罪件数の減少も見られることから，安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

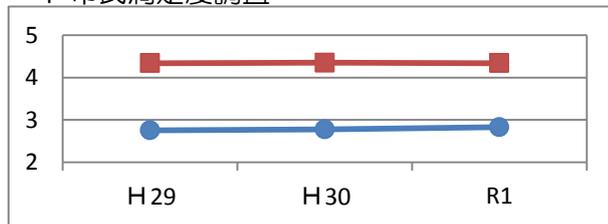
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業【まちづくり推進課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。
街路灯・防犯灯事業【まちづくり推進課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	718 (H28)	750	733
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	897 (H28)	1,060	888
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	726 (H28)	650	699

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.75	4.34
平成30年度調査	2.78	4.35
令和元年度調査	2.83	4.34

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

B	総括評価
	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り，増加傾向にある苦情や相談等に対応し，消費者意識の向上を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

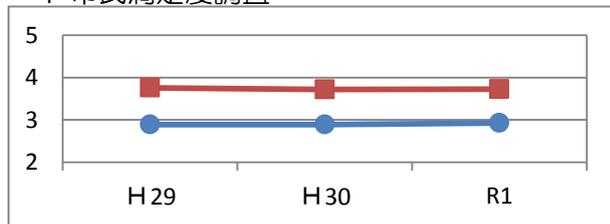
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【まちづくり推進課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
相談件数	消費者トラブル等相談	件	397 (H28)	300	614
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	¹ (H28)	7	4
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	338 (H28)	280	580

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.76
平成30年度調査	2.89	3.72
令和元年度調査	2.93	3.73

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

B	総括評価
	環境に配慮した新庁舎は，太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを活用し，消費電力の低減を図っています。 一方省エネルギーの推進では，市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。

2 主要事業の概要

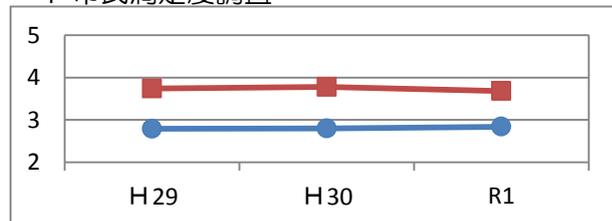
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	個別施設計画に基づき，計画的に管理・運営を行っていきます。
環境保全対策経費【生活環境課】	地球環境問題を考える機会を増やすために，広報やホームページ等による啓発を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量を5年で5%以上削減（原油換算）	kl	3,187 (H28)	3,028	3,076
市の施設における新エネルギーの導入件数	市の施設における新エネルギーの導入件数	件	¹ (H29)	2	1
意識啓発活動	省エネルギーキャンペーン等の実施回数	件	² (H28)	2	1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.79	3.74
平成30年度調査	2.80	3.78
令和元年度調査	2.84	3.68

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新や整備，安定供給のための経営の効率化

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	今年度，石岡市水道事業中長期基本計画を柱とし，水道事業ビジョン，水道事業経営戦略を策定しました。今後は，本計画に基づき，事業の運営を進めて参ります。また，有収率について，漏水調査により，漏水の早期発見，早期修繕を継続して実施しております。今年度，大小合わせて90件超の漏水修理を行いました，漏水発生頻度は増加傾向にあり，有収率はわずかな減少となりました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	水道施設について，老朽化がみられる機械電気設備を中心に更新を実施し，また，耐震性が不明な施設について耐震診断を行い状況把握に努めます。管路については，民地に埋設された管路を優先し更新して参ります。

2 主要事業の概要

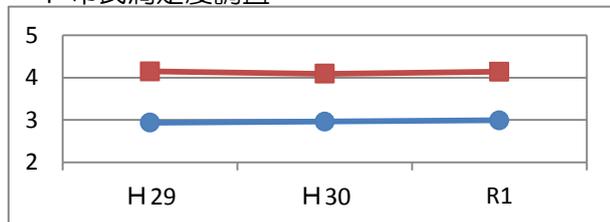
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
水道事業会計全般【水道課】	平成30年度において，石岡市水道事業中長期基本計画，水道事業ビジョン，水道事業経営戦略を策定しております。今後は，本計画に基づき，事業の運営を進めて参ります。
特別会計繰出金【水道課】	今後も地方公営企業繰出金について（総務省自治財政局長通知）に基づき，繰出すことにより，上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図って参ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
有収率	有収水量÷配水量	%	75 (H28)	85	75.68

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.93	4.15
平成30年度調査	2.96	4.09
令和元年度調査	2.99	4.14

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみの減量化・リサイクルの推進，環境監視委員によるパトロール，ごみ処理施設の広域での整備

1 総括評価

B	総括評価
	環境監視員の活動等により，不法投棄の早期発見につながっています。1人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について，周知方法や取り組みを検討していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	更なるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報紙を含めた啓発の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

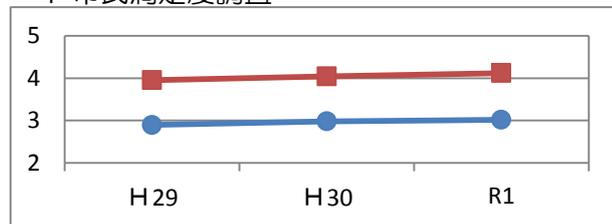
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには，新規の登録団体や実施回数を増やすとともに，広報紙・HP等による周知が必要です。
清掃一般事務費【生活環境課】	生活環境に支障が生じないように，一般廃棄物（ごみ・し尿）を適正に処理する必要があり，ごみ処理施設については，施設の老朽化に伴い，新ごみ処理施設の建設を進めています。
塵芥処理経費【生活環境課】	一般家庭から排出されるごみについては，市町村が収集・運搬・処分を行うことが法律で定められており，分別収集の徹底，市民意識の高揚を図ることで，ごみの減量化と資源の有効活用に結びつきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	17.56 (H28)	24.6	18.41
1人当たりの年間ごみ排出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	348 (H28)	315	347
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	1,819 (H28)	914	1,650

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.95
平成30年度調査	2.98	4.04
令和元年度調査	3.02	4.12

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

B	総括評価
	河川水質等の分析，公害等の各種調査・分析を行っており，現状の検査結果等で異常値はなく，環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。身近なみどり整備推進事業では，計画時早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森は現状をみながら進めざるを得ない状況です。空家等対策事業では，所有者等への啓発の他，特定空家等の認定及び指導を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	水質浄化の啓発と共に生活排水を処理できる環境を整える必要があります。荒廃した森林の間伐や県森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。空家等利活用による発生抑制の推進が必要です。

2 主要事業の概要

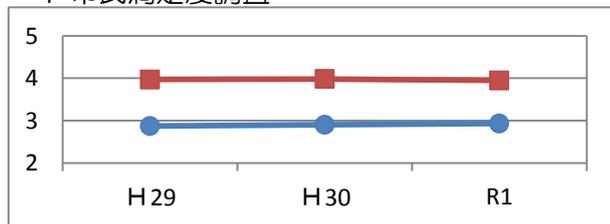
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	合併浄化槽補助金の交付や水質浄化の啓発等により霞ヶ浦の水質浄化が図れています。協働で行う清掃事業を今後もより地域に浸透させていきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	国，県に補助制度の見直し，拡大を要望し，本事業の推進に努めます。
空家等対策事業【生活環境課】	石岡市空家等対策計画の策定に伴い，空家等の実態把握を継続しつつ，空家等の発生抑制・解消を進めていくことが重要です。特に特定空家等の認定とその解消を計画的に実施し，利活用等により発生抑制についても進めていく必要があります。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	荒れてしまった身近な森林を整備することで，安心安全な生活環境づくりに貢献していく。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
河川のBODの値	恋瀬川におけるBODの値	mg/l	1.7 (H27)	1.7	1.8
食用廃油回収量	食用廃油回収量	リットル	1,750 (H28)	2,000	1920
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を実施する箇所数	箇所	0 (H28)	2	0
水洗化普及率（合併処理浄化槽）	水洗化済人口／処理区域人口	%	23.2 (H28)	25	24.2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.87	3.97
平成30年度調査	2.90	3.98
令和元年度調査	2.93	3.95

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進，まちづくりについての情報発信

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	石岡市協働のまちづくり条例施行後，市民満足度は向上しており，一定の成果を上げているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

2 主要事業の概要

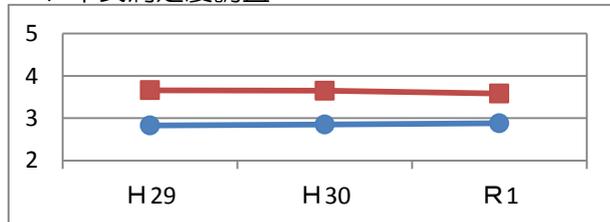
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【まちづくり協働課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により，市民と協力し，行われている事業を分析し，その事業の発展向上を目指します。
コミュニティ・新生活運動事業【まちづくり協働課】	今後も引き続きコミュニティ活動の推進を図っていきます。
区長・協力員関係経費【支所総務課】	市民の積極的な行政参加と協力を得ることに役立っています。区の役割等（協働のまちづくり）を踏まえながら，新たな補助形態の検討が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・HPへの掲載事例数	事例	3	10	3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.83	3.66
平成30年度調査	2.85	3.65
令和元年度調査	2.88	3.58

04災害に強く安心して暮らせるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1消防・救急体制の充実	A	<p>市民の生命・身体の保全を図るため、救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い、専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救急講習会）を実施し、バイスタンダーを育成しました。</p>	<p>市民の安全・安心を確保するためには、各事業の更なる整備、応急手当の普及啓発、また、消防隊員・救急隊員の継続的な教育が必要であります。</p>
2防災機能の整備・強化	B	<p>平成27年度より、市内全域で防災行政無線の運用を開始し、市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また、平成8年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた整備を令和3年度運用を目指し取り組んでいます。</p>	<p>今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また、被災者の福祉及び生活の安定を目指します。</p>
3防災体制の充実	B	<p>毎年、石岡市地域防災計画を改定し当計画に基づく災害体制の構築を進めています。また、災害時に市民が必要とする業務の継続、早期の復旧が可能となるよう、業務継続計画（BCP）を策定しています。</p>	<p>災害時に、市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。</p>
4地域防災力の向上	B	<p>行政と市民が防災に関する情報を共有し、自主防災組織の設立促進や防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また、防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで、市民の防災意識の向上を図り、安全確保に努めてきました。</p>	<p>自主防災組織率が、県平均を上回るよう積極的に推進するとともに、防災訓練への参加を促進し、地域防災力の向上に努めます。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O4災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	O1 消防・救急体制の充実
具体的取り組み例	救急講習会の開催，消防隊員・救急救命士の技能向上

1 総括評価

	総括評価
	市民の生命・身体の保全を図るため，救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い，専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救急講習会）を実施し，バイスタンダーを育成しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民の安全・安心を確保するためには，各事業の更なる整備，応急手当の普及啓発，また，消防隊員・救急隊員の継続的な教育が必要であります。

2 主要事業の概要

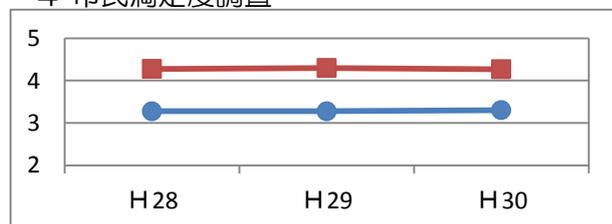
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消防機械整備事業【総務課（消防）】	更新計画に基づき計画的に進めていく必要がある。
愛郷橋出張所整備事業【総務課（消防）】	石岡市消防施設等総合整備計画に基づき，強固な防災拠点を整備していかなければなりません。
救急活動経費【警防課（消防）】	救急車の資器材は定期的な点検が必要で，期限が定められている物は更新時に多額の経費を要します。救命講習会の受講者は，増加傾向にあり使用頻度が高い資器材を更新していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
救急講習会受講者数	バイスタンダーによる適切な処置のため，救急講習会受講者数を増加させる	人	7,691 (H29)	14,000	10,421
消防団	消防団の再編を実施する	分団	18 (H29)	26	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.28	4.30
平成30年度調査	3.30	4.27
令和元年度調査	3.37	4.29

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	02防災機能の整備・強化
具体的取り組み例	防災無線の積極的な運用，避難所の防災倉庫や備蓄品の適正な管理

1 総括評価

B	総括評価
	平成27年度より，市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また，平成8年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた整備を令和3年度運用を目指し取り組んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また，被災者の福祉及び生活の安定を目指します。

2 主要事業の概要

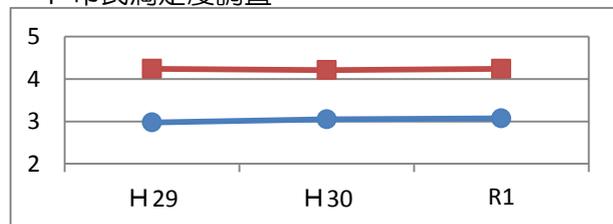
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災行政無線管理運用経費【防災対策課】	市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。今後も継続して適正な運用管理を図っていきます。
地震災害支援経費【社会福祉課】	災害によって被害を受けた市民に対して応急援護を図る見舞金支給事業であり，被災者の経済的な不安をやわらげることができるようにしていきます。
急傾斜地崩壊対策事業【道路建設課】	県事業（国庫補助採択）のため，整備箇所や事業費などが限られる。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
防災行政無線の一元化	防災行政無線「ぼうさいいしおか」と「ぼうさいやさと」の一元化	式	2 (H29)	1	2
防災拠点の充実	防災拠点である新庁舎での防災機能の充実	式	0 (H29)	1	1
急傾斜地崩壊対策整備延長	急傾斜地崩壊対策事業による整備延長	m	352 (H29)	485	345

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	4.24
平成30年度調査	3.05	4.21
令和元年度調査	3.07	4.24

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	03防災体制の充実
具体的取り組み例	地域防災計画の運用，業務継続計画（BCP）の運用

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	毎年，石岡市地域防災計画を改定し当計画に基づく災害体制の構築を進めています。また，災害時に市民が必要とする業務の継続，早期の復旧が可能となるよう，業務継続計画（BCP）を策定しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	災害時に，市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。

2 主要事業の概要

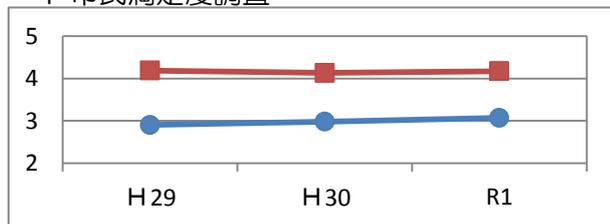
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災対策経費【防災対策課】	防災備蓄品については，消費期限等を考慮して防災啓発や教育等に有効活用するとともに数量管理を適正に管理していきます。また，防災用資機材については，点検及び維持管理に努め，職員に対しては訓練や研修等を継続的に実施していきます。
防災対策経費【防災対策課・総務課（支所）】	防災行政無線は，石岡地区がデジタル，八郷地区がアナログで運用されているため，八郷地区のデジタル化への更新とともに，全世帯を対象に戸別受信機を配備し情報伝達手段の多重化を図り，令和3年4月の運用開始を目標に整備を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
防災会議の開催	地域防災計画見直しのための防災会議の開催数	回	1 (H29)	1	1
業務継続計画の策定	業務継続計画の対応する災害種別数	種	1 (H29)	2	1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.90	4.19
平成30年度調査	2.98	4.13
令和元年度調査	3.07	4.17

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	04地域防災力の向上
具体的取り組み例	自主防災組織への支援，火災予防運動や危険物安全週間を通じた周知活動

1 総括評価

B	総括評価
	行政と市民が防災に関する情報を共有し，自主防災組織の設立促進や防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また，防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで，市民の防災意識の向上を図り，安全確保に努めてきました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	自主防災組織率が，県平均を上回るよう積極的に推進するとともに，防災訓練への参加を促進し，地域防災力の向上に努めます。

2 主要事業の概要

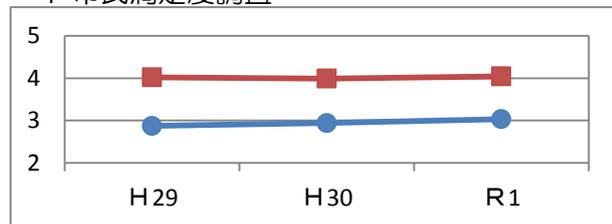
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
火災予防経費【予防課（消防）】	市民目線での広報活動を実施し，未設置者の理解を得る必要があります。
防災訓練経費【防災対策課】	地域住民が主体となった防災訓練の実施に向け，出前講座等を継続的に行っていきます。
自主防災組織活性化事業【防災対策課】	地域での防災研修会などに積極的に参加し，自主防災組織の設立促進を図るとともに，県の事業などを有効に活用して，自主防災組織の活性化を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
地域防災訓練の実施	地域住民が中心となった防災訓練への参加人数（単年度）	人	581 (H29)	600	1,101
総合防災訓練の実施	総合防災訓令の参加人数	人	1,191 (H29)	1,500	-
自主防災組織の設立促進	自主防災組織の設立組織数	組織	154 (H29)	160	156
住宅用火災警報器の設置	設置率の推計値	%	72.2 (H29)	80	74

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.87	4.02
平成30年度調査	2.94	3.99
令和元年度調査	3.03	4.04

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1健康づくりの推進	B	各成果指標は、目標値には達していませんが、市民満足度調査においては、重要度が増加しており、市民の意識や関心が高いことが伺われます。今後も目標値に近づけるよう各事業を展開し、市民満足度の向上に努めます。	「第二次いしおか健康応援プラン」に基づいて、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関する事業を展開していきます。
2地域医療の充実	B	初期救急及び第二次救急医療の運営は実施できていますが、石岡地域において、平日夜間の小児初期救急体制が整備されておらず、また分娩できる産科がなくなっていることから、医療体制の充実、医師の確保等が課題となっています。平成30年度は、近隣市とともに、医療従事者、市民、行政で組織した市民医療懇談会を実施し、石岡地域における医療体制を協議し、今後の方向性を提言しました。	市民医療懇談会での提言を受け、石岡地域に係る対策を検討する専門委員会を組織し、今後の医療体制の具体的な方策を検討してまいります。
3子育て環境の充実	A	児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については、適正に行っております。また、子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については、経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については、平成29年度及び平成30年度に市内施設の利用定員の見直しを行いました。	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。
4高齢者福祉や介護予防の充実	B	高齢者の増加に伴い、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また、日常生活支援総合事業対象者、要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業を含め高齢者関連事業では、令和2年度までが計画期間である第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や業が適正な水準で実施されています。	高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め、第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5障がい者福祉の充実	B	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し、地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。
6地域福祉の充実	B	避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。	支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。
7生活困窮者等の自立支援	B	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ177回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。
8社会保障制度の安定した運営	A	国民健康保険事業では、特定健康診査受診率は目標値に達していませんが、前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。 医療福祉事業では、制度改正により、助成対象の拡大が図られました。	関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	予防接種への助成，妊婦や乳幼児健診の実施

1 総括評価

B	総括評価
	各成果指標は、目標値には達していませんが、市民満足度調査においては、重要度が増加しており、市民の意識や関心が高いことが伺われます。今後も目標値に近づけるよう各事業を展開し、市民満足度の向上に努めます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	「第二次いしおか健康応援プラン」に基づいて、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関する事業を展開していきます。

2 主要事業の概要

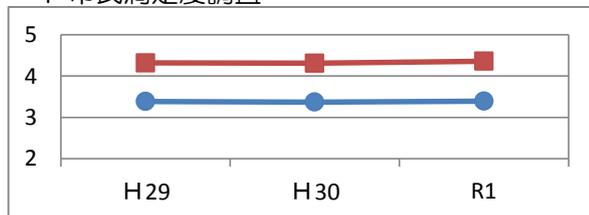
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
健康づくり推進事業【健康増進課】	石岡市民に多いとされる高血圧をはじめとした生活習慣病予防のため、食生活改善推進員の協力を得ながら野菜摂取量増加、及び適塩の普及啓発活動を実施しました。今後も効果的な事業が実施できるよう、さらに事業内容を検討するとともに、食生活改善事業を広く周知し、より多くの参加者を募ります。
母子保健事業【健康増進課】	妊娠期から乳幼児期の健康診査や訪問等を充実させ、安心して子育てができる環境を整え、健康づくりを推進します。
子育て世代包括支援センター事業【健康増進課】	子育て世代包括支援センターとして、妊娠期から子育て期の支援を充実させ、また子育て相談がしやすい環境づくりを整え、社会資源の情報集約と関係機関との連携を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	98.3 (H28)	99.0	97.0
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,111 (H28)	4,500	4,288
成人歯科検診を受けた市民	市の行なう成人歯科検診を受診した人数	人	268 (H28)	320	285
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	128 (H29)	140	133

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.38	4.32
平成30年度調査	3.37	4.31
令和元年度調査	3.39	4.36

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立，第二次救急診療の当番病院への運営補助

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	初期救急及び第二次救急医療の運営は実施できていますが，石岡地域において，平日夜間の小児初期救急体制が整備されておらず，また分娩できる産科がなくなっていることから，医療体制の充実，医師の確保等が課題となっています。平成30年度は，近隣市とともに，医療従事者，市民，行政で組織した市民医療懇談会を実施し，石岡地域における医療体制を協議し，今後の方向性を提言しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民医療懇談会での提言を受け，石岡地域に係る対策を検討する専門委員会を組織し，今後の医療体制の具体的な方策を検討してまいります。

2 主要事業の概要

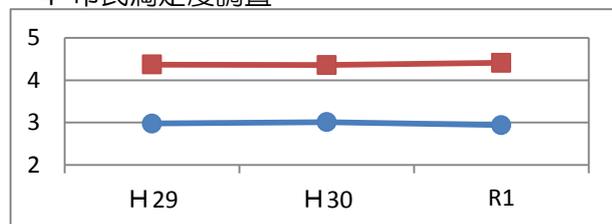
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	市民へのセーフティネット提供のために，継続して実施いたします。
診療業務費【健康増進課】	市民へのセーフティネット提供のために，継続して実施いたします。
献血推進事業【健康増進課】	輸血医療を必要とする世代の多くは高齢者であり，今後ますます高齢化が進むことで，需要に対して供給が追いつかない事態が想定されます。血液の安定的な供給の確保を進めるため，県や赤十字血液センターと連携し，事業を継続していく必要があります。同様に，骨髄ドナーについても関係団体と連携し，骨髄等の移植に関する正しい知識の普及，新規登録者の確保のための取り組みを今後も継続していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0(H28)	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0(H28)	100	100
石岡地域市民医療懇談会の開催	石岡地域市民医療懇談会の開催回数	回	0(H29)	3	3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	4.37
平成30年度調査	3.01	4.36
令和元年度調査	2.94	4.41

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	保育事業，放課後児童対策事業

1 総括評価

	総括評価
	<p>児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については、適正に行っております。また、子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については、経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については、平成29年度及び平成30年度に市内施設の利用定員の見直しを行いました。</p>
<p>A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	<p>幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。</p>

2 主要事業の概要

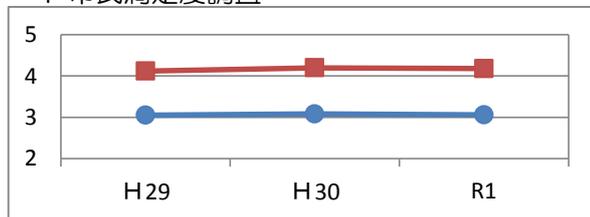
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
子育て支援事業【こども福祉課】	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。また、子どもの育ちに係る費用を支援することにより、子育てしやすい環境を整え、少子化を抑制することを目指します。
保育支援関係経費【こども福祉課】	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育サービスに対応して実施いたします。
児童手当経費【こども福祉課】	制度内容の周知・申請期限などの手続に関する通知を引き続き丁寧に行います。また、現況届の未提出者の削減に努めます。
放課後児童健全育成事業【生涯学習課】	児童クラブ運営の効率化と支援員の資質向上及び確保を図るため、石岡市放課後子どもプラン運営委員会において公立児童クラブの民間委託の是非を含めた検討を進めています。また、保護者の早く預けたい、遅くまで預けたいという要望に対応するため、時間延長も検討していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
待機児童数	入所資格を有するも、市内の保育所に入所ができない児童数	人	0 (H28)	0	0
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	27,020 (H28)	27,500	37,793
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	793 (H28)	800	828

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.05	4.12
平成30年度調査	3.08	4.20
令和元年度調査	3.06	4.18

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成，生涯現役で活躍できる環境づくり

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また，日常生活支援総合事業対象者，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業を含め高齢者関連事業では，令和2年度までが計画期間である第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や業が適正な水準で実施されています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め，第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

2 主要事業の概要

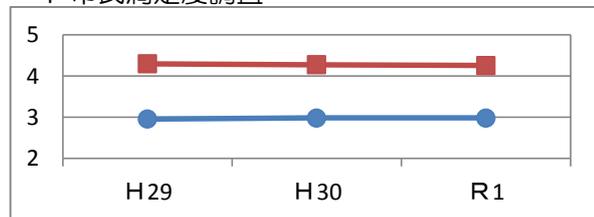
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
在宅高齢者サービス事業【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるように継続的に事業の実施を行う。
介護保険特別会計（総括）【高齢福祉課】	高齢者の増加とそれに応じた需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが見込まれている。そのため，事業の継続性と適正性の確保が求められている。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており，「認知症施策」「在宅医療・介護連携の推進」「生活支援体制整備」等，介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ，必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ，事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
生涯現役プラチナ応援事業登録者数	市内に住所を有する65歳以上の方の登録者数	人	3,760(H28)	8,100	4,972
総合相談件数	地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談対応延べ数	件	15,855(H28)	18,500	16,728
介護予防教室等参加者数	介護予防講演会や介護予防教室参加延べ人数	人	5,589(H28)	5,900	7,946
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延数	人	116(H29)	196	134

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.95	4.29
平成30年度調査	2.98	4.27
令和元年度調査	2.98	4.25

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補助装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

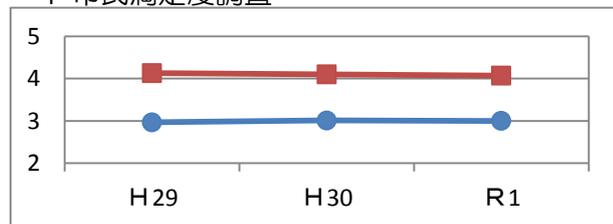
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障害者を支え，障害者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。今後も達成できるよう，必要な障害福祉サービス事務に努めていきます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障害者の自立を支援していきます。今後も障害者の社会的知識の習得や日常生活の場所として事業所の周知を図っていきたい。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設数	5 (H28)	6	5
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	85 (H28)	90	-

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.97	4.13
平成30年度調査	3.01	4.10
令和元年度調査	3.00	4.07

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

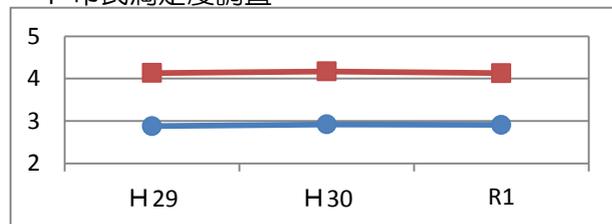
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員児童委員が地域と行政のパイプ役となり，また地域支えあいとなることで高齢者，障害者，その他の援助を必要とする人が地域で独立した生活を営めるようにしていきます。
介護保険特別会計（総括）【高齢福祉課】	高齢者の増加とそれに伴った需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが見込まれている。そのため，事業の継続性と適正性の確保が求められている。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
在宅災害時要援助者に対する地域支援者数	在宅災害時要援助者台帳登録者の地域支援者の確保割合	%	49.6 (H29)	75	54.7
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	174 (H29)	180	173

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.88	4.13
平成30年度調査	2.92	4.17
令和元年度調査	2.91	4.13

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援、ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

B	総括評価
	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ177回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

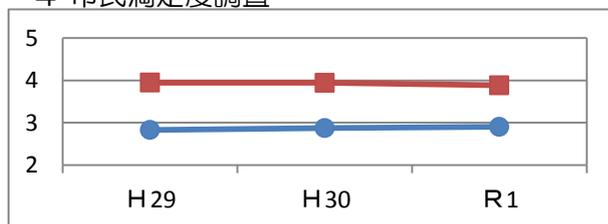
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	国のセーフティネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	広報等に努め、相談件数や支援件数が増えるよう取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち、増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	23 (H28)	30	25
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H28)	40	33

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.83	3.94
平成30年度調査	2.87	3.94
令和元年度調査	2.90	3.88

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	特定健康診査・特定保健指導事業，医療費の自己負担を一部助成，介護サービスの実施

1 総括評価

	総括評価
	<p>国民健康保険事業では，特定健康診査受診率は目標値に達していませんが，前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。</p> <p>介護保険事業では，第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され，順調に進んでいます。</p> <p>医療福祉事業では，制度改正により，助成対象の拡大が図られました。</p>
<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 遅れている</p> <p>D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	関係機関との連携を図り，安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

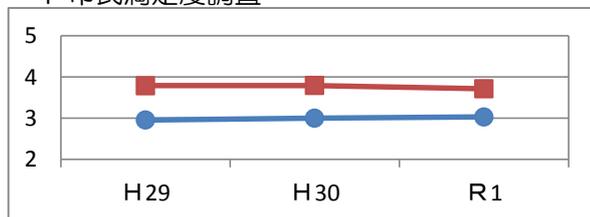
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計（総括）【保険年金課】	国民健康保険は，平成30年度から県が財政運営の責任主体となり，市町村は引き続き資格管理，保険給付，保険税の賦課・徴収及び保健事業等を実施していきます。
医療福祉一般事務費【保険年金課】	小児の医療福祉費は入院を18歳まで年齢を拡大し，子育て支援のひとつとして実施することができました。今後も制度改正に留意し，条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業【保険年金課】	子育て出産にかかる医療費の軽減をすることにより必要な医療を受けやすく安心して受診できる環境を提供できました。厳しい財政状況の中，制度が持続できるよう医療費の適正化などに努めていきたい。
介護保険特別会計（総括）【高齢福祉課】	高齢者の増加とそれに応じた需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが見込まれている。そのため，事業の継続性と適正性の確保が求められている。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
国民健康保険税収納率・(一般被保険者分)	国民健康保険税収納額/国民健康保険税調定額	%	91.1 (H28)	92	92.46
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数/特定健康診査受診対象者数	%	36.7 (H28)	60	36.8 (H29)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者/特定保健指導対象者数	%	41.6 (H28)	60	36.5 (H29)
介護保険料収納率(現年度)	介護保険料収納額/介護保険料調定額	%	98.1 (H28)	98.2	98.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.96	3.79
平成30年度調査	3.00	3.79
令和元年度調査	3.03	3.71

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	<p>目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進してまいります。</p>	<p>学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。語学指導においては、新学習指導要領や国・県の動向を踏まえ、事業推進を図ります。地元産食材のさらなる活用を目指します。</p>
2学校施設の整備・充実	B	<p>ICT環境整備について、平成30年度にタブレット整備を全中学校で完了し、効果的な教育環境づくりが達成できました。</p>	<p>小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで、児童生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築を目指し、望ましい教育環境の整ったまちを目指します。また、令和元年度には小学校においてタブレット整備が全校完了となる予定です。</p>
3生涯学習の推進	B	<p>生涯学習情報の収集や提供を行うことで、生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を推進します。</p>	<p>市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに、幅広い年齢層への広報活動を促進します。</p>
4生涯スポーツの推進	B	<p>石岡運動公園で大規模改修工事があり使用禁止期間が発生したため、利用人数が減少していますが、施設の利便性としては向上しています。 少子化の影響により、青少年スポーツ大会参加人数が下降傾向にあります。 新規に開催した水中ウォーキング教室が好評であり、定員以上の申込みがあったため、令和元年度は開催回数を増やしています。</p>	<p>多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。</p>

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5文化・芸術の推進	B	<p>市民が文化芸術に親しみ、創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで、一定の役割を果たしています。また、自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために、様々な活動に参加する機会の充実を図りました。</p>	<p>市民会館個別施設計画の期限内に整備を図り、地域文化施設の拠点となるよう運営に取り組みます。また、文化芸術振興基本計画を策定し、市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め、文化芸術の活性化を図っていきます。</p>
6青少年の健全育成	B	<p>青少年が健やかに成長することを目指し、青少年の健全育成のため各種事業を実施しています。家庭、学校、地域と連携をとりながら、活動体制を充実や社会環境の健全化活動により、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。</p>	<p>青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、地域に根ざした各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。</p>
7歴史・文化財の保護・活用	B	<p>発掘調査経費、文化財保護保存及び普及経費については計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。また、市民満足度調査の数値も昨年より改善されています。今後も企画展や文化財調査報告会の開催を通し活用をはかってまいります。また、養成講座の開催等を通して歴史ボランティアの会の会員に関しても継続して充実をはかります。</p>	<p>開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに、個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	01創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

B	総括評価
	目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進してまいります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。語学指導においては、新学習指導要領や国・県の動向を踏まえ、事業推進を図ります。地元産食材のさらなる活用を目指します。

2 主要事業の概要

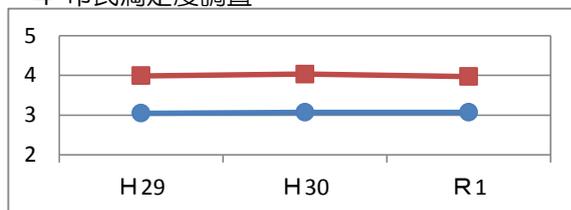
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	中学校における英語教育の充実を図るため、市内5中学校にAETを派遣しています。小学校は、5・6年生を対象としていた外国語活動が、平成30年度から小学校3・4年生にも導入されたため、AETを2人増員し、派遣しています。
学校いきいきプラン推進事業（小・中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されている。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要である。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	継続して衛生管理の徹底及び衛生教育を実施することで、今後も安心・安全な給食の提供を実施します。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	今後もより一層の衛生管理と衛生教育を実施します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
いきいきプラン推進事業の事業数	いきいきプラン推進事業の事業数	回	215 (H28)	230	239
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	93.4% (H28)	95	87.0
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラムの地区予選最終選考に進出した生徒数	人	0 (H28)	4	0
学校給食における地場産物の活用	地場産食材数/総食材数	%	53.7 (H29)	59.0	67.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.05	3.99
平成30年度調査	3.07	4.03
令和元年度調査	3.07	3.97

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事，ICT化，小中学校への空調設備の導入

1 総括評価

B	総括評価
	ICT環境整備について，平成30年度にタブレット整備を全中学校で完了し，効果的な教育環境づくりが達成できました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。また，令和元年度には小学校においてタブレット整備が全校完了となる予定です。

2 主要事業の概要

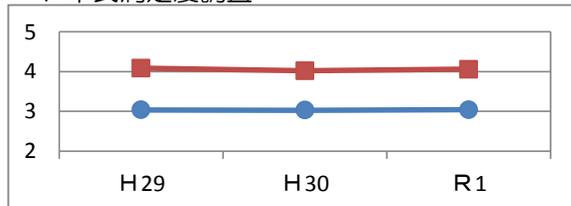
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費（小・中学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができた。今後も継続する必要があるが，随時，事業費の削減余地について検討を要する。
保健衛生管理経費（小・中学校）【教育総務課】	生徒の健康の維持増進は一定の成果を上げており，今後も事業の継続が求められる。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	66.52 (H29)	74.1	69.4
教育用タブレット端末の導入	教育用タブレット端末導入校数÷市内小中学校数	%	16 (H29)	100.0	29

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	4.09
平成30年度調査	3.03	4.02
令和元年度調査	3.04	4.06

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進

1 総括評価

B	総括評価
	生涯学習情報の収集や提供を行うことで，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を推進します。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

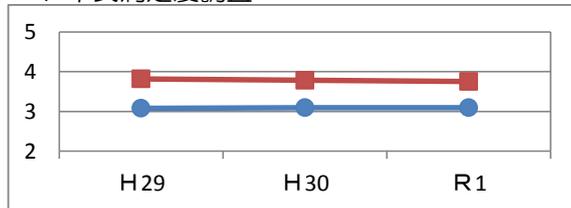
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した図書館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう，各種講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し，施設環境を整備するとともに，利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	地域の協力者，ボランティア及び学校と連携して事業を実施し，子どもたちの社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性をかん養うことができました。また，市内全校での実施と，放課後児童クラブに入所する児童も含めて希望者全員が参加でき，効率的な運営ができるよう石岡市放課後子どもプラン運営委員会において民間委託の是非を含む検討を進めています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市民講師講座参加者数	市民講師講座参加者数	人	8,280 (H28)	9,500	11,102
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	52,461 (H28)	53,100	53,362
図書館の年間利用者数	図書資料等の年間借受者数	人	80,648 (H28)	84,000	76,408
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	718 (H28)	780	522

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.82
平成30年度調査	3.09	3.78
令和元年度調査	3.09	3.75

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

B	総括評価
	石岡運動公園で大規模改修工事があり使用禁止期間が発生したため、利用人数が減少していますが、施設の利便性としては向上しています。 少子化の影響により、青少年スポーツ大会参加人数が下降傾向にあります。 新規に開催した水中ウォーキング教室が好評であり、定員以上の申込みがあったため、令和元年度は開催回数を増やしています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。

2 主要事業の概要

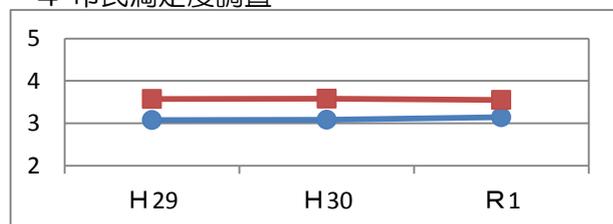
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の体力向上と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに、市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。また、マラソンイベントに関しては更なる参加者を獲得するために、ハーフマラソンの具体化を検討します。
体育振興活動経費【スポーツ振興課】	各スポーツ団体等へ大会・教室等の開催を依頼し、スポーツの普及振興を図ってきました。今後も社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、ニーズに応えられる事業選定をするなど、更なるスポーツの推進に努めていきます。
国体準備経費【スポーツ振興課】	国体開催に向け、大会運営・競技の準備を進めています。令和元年は、バドミントンの本大会及び各デモンストレーションスポーツを開催し、開催後は大会報告書を作成します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
スポーツ施設利用人数	スポーツ施設を利用した延べ人数	人	315,170(H28)	346,600	266,102
青少年スポーツ大会参加人数	各競技の青少年スポーツ大会参加延べ人数	人	2,463(H28)	2,463	2,245
スポーツ推進事業参加者数	スポーツ推進教室参加延べ人数	人	640(H28)	760	697

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.58
平成30年度調査	3.08	3.58
令和元年度調査	3.14	3.55

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催，文化活動支援

1 総括評価

B	総括評価
	市民が文化芸術に親しみ，創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民会館個別施設計画の期限内に整備を図り，地域文化施設の拠点となるよう運営に取り組みます。また，文化芸術振興基本計画を策定し，市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め，文化芸術の活性化を図っていきます。

2 主要事業の概要

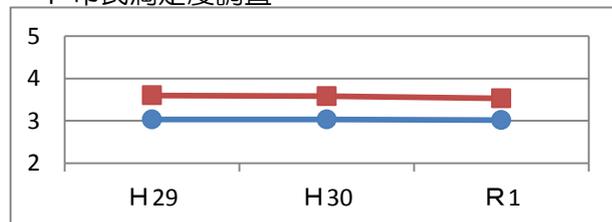
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費【市民会館】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した市民会館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民を連携をはかりながら，市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。現在，将来の世代にわたり地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的で個性的な文化活動を支援するとともに，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術振興基本計画の策定に取り組んでいます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
市民会館施設利用回数	ホール・会議室の利用回数	回	2,522 (H28)	2,600	2,424
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等(8室)の利用人数	人	67,803 (H28)	68,000	69,844
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	964 (H28)	1,500	920
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	35 (H28)	35	34

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	3.60
平成30年度調査	3.03	3.58
令和元年度調査	3.02	3.53

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援，青少年を育てる会の活動補助

1 総括評価

B	総括評価
	<p>青少年が健やかに成長することを目指し，青少年の健全育成のため各種事業を実施しています。家庭，学校，地域と連携をとりながら，活動体制を充実や社会環境の健全化活動により，地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>青少年が心身ともに健やかに成長できるよう，地域に根ざした各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。</p>

2 主要事業の概要

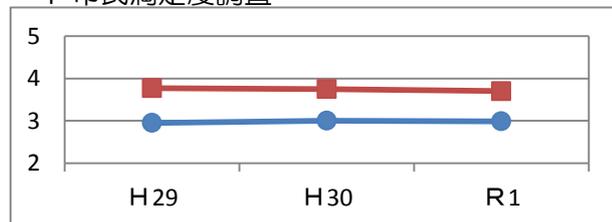
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業【生涯学習課】	青少年相談員の街頭巡回活動は定期的実施されているが，仕事をもつ相談員の活動参加が難しいため，活動へ参加できるような事業計画を検討していく必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	年々子ども会加入児童数は減少傾向ですが，児童の健やかな成長に大切な役割を果たしている子ども会事業について，引き続き支援をしていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	68 (H28)	70	67
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H28)	7	5
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	5 (H28)	6	5
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	14 (H28)	15	12

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.95	3.77
平成30年度調査	3.00	3.75
令和元年度調査	2.99	3.70

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効活用

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	発掘調査経費，文化財保護保存及び普及経費については計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。また，市民満足度調査の数値も昨年より改善されています。今後も企画展や文化財調査報告会の開催を通し活用をはかってまいります。また，養成講座の開催等を通して歴史ボランティアの会の会員に関しても継続して充実をはかります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに，個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。

2 主要事業の概要

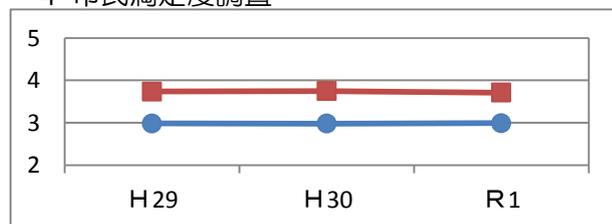
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	平成30年度は全体的な件数は例年よりやや多いといえます。発掘調査は大変重要な事業であることから，今後も事業を現状維持で実施します。ただし，依然として，全ての開発を抑え切れている状況ではないため，今後はより活用をはかることにより，文化財の重要性を市民に広げていきます。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺跡とともに国指定化を目指します。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，積極的に普及啓発の推進をはかっていきます。また，国指定文化財については，順次保存活用計画の策定を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	142 (H28)	143	144
歴史ボランティアの会会員	歴史ボランティアの会会員数	人	23 (H28)	27	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	3.74
平成30年度調査	2.98	3.75
令和元年度調査	2.99	3.71

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 積極的な情報発信と対話の充実	B	<p>「市長へのたより」やタウンミーティングの実施を通して、市民との対話の充実に努めています。また、広報紙やホームページなどを活用し、積極的な情報発信に努めています。事務事業の進捗状況から、当初の目的を達成しつつあります。</p>	<p>市政に関する情報を、市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、今後も時代の流れに則した情報発信手法を随時調査・研究し、市民の市政への関心をより高めてまいります。</p>
2 庁舎の整備・行政サービスの充実	B	<p>本庁では、平成30年12月に新庁舎が完成し、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営の推進を図っています。また、行政サービスの拡充に向け、マイナンバーカードの交付を促進し、証明書交付においてコンビニ等での利用拡大を図り、市民の利便性の向上に努めています。</p>	<p>個別施設計画に基づく庁舎の計画的な管理・運営や、市民のニーズに対応した、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。</p>
3 地域情報化の推進	A	<p>ウェブアクセシビリティ基準におけるウェブコンテンツJIS X 8341-3:2016に基づいた試験を行い、達成等級AAを達成しております。また、各種システム及び機器の安定稼働を年間を通して実施することができました。</p>	<p>石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会情勢等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務システムの最適化を目指します。</p>
4 広域行政の推進	B	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と一部事務組合を構成し、広域的な行政サービスに取り組んでいます。また、平成28年3月に行方市、小美玉市、及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき、市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。</p>	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と連携を進めていきます。</p>

〇7時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5男女共同参画の推進	B	<p>第2次石岡市男女共同参画基本計画に基づき、市民や事業所を対象としたセミナーの他、小中学生を対象とした出前講座を実施し、男女共同参画社会の実現に向けた理解促進に努めています。また、政策決定過程への女性の参画促進に全庁的に取り組んでいます。</p>	<p>関係団体等と連携もしながら、市民・企業等に対する男女共同参画への正しい理解促進に取り組んでいきます。</p>
6国際交流の推進	B	<p>市内の国際交流団体と連携し、施策を推進しています。平成30年度には外国人向け「多言語版防災ハンドブック」を作成するなど、外国人も安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。</p>	<p>市と市内国際交流団体が連携し、交流団体の活動を支援していきます。また日本人と外国人がともに安心して暮らせる共生社会の実現を図ります。</p>
7人材育成の強化	A	<p>石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに、心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。</p>	<p>専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要とされる能力を育成するため様々な研修を実施するとともに、研修のための職員派遣を積極的に行います。職員の健康管理については、健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策に取り組めます。</p>
8行財政改革の推進	B	<p>石岡市行財政改革大綱のテーマである「行政資産の強化と公共サービスの最適化」を目指し、①財政運営の充実、②人財の強化、③協働によるまちづくりの推進、④行政サービスの最適化、4つの取組方針、46の実施項目を掲げ、庁内各部局の取り組み状況等を毎年進行管理しています。 平成30年度は46実施項目のうち、38項目実施中となりました。残りの8項目についても、スケジュールに沿って進められています。</p>	<p>行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング方式による見直しを行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っています。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	01積極的な情報発信と対話の充実
具体的取り組み例	タウンミーティング等の対話の実施，戦略的・効果的な情報発信

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	「市長へのたより」やタウンミーティングの実施を通して，市民との対話の充実に努めています。また，広報紙やホームページなどを活用し，積極的な情報発信に努めています。事務事業の進捗状況から，当初の目的を達成しつつあります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市政に関する情報を，市民と共有する開かれたまちづくりを目指し，今後も時代の流れに則した情報発信手法を随時調査・研究し，市民の市政への関心をより高めてまいります。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
議員活動運営経費【庶務議事課】	これまで実施してきた議会ホームページの運用や議会広報紙の発行，議会報告会の開催に加え，今年度は議会映像のインターネット中継を開始。市民が議会情報に触れる機会の拡大を図りました。今後は事業の周知を進めることで，市民の議会への関心を高めていきます。
広報活動経費【秘書広聴課】	広報紙については，紙媒体という特性を最大限生かしながら，市民の活動のきっかけとなるような紙面づくりを進めていく。ホームページについては，県広報コンクールで入選となるなど，デザインレイアウト等でも一定の評価を得ているため，今後も継続して改善を図っていく。併せて，情報を広く伝える工夫を図るため，他の発信ツールを相互補完的に活用するなどしながら，市民に向けた広報をさらに充実させていく。

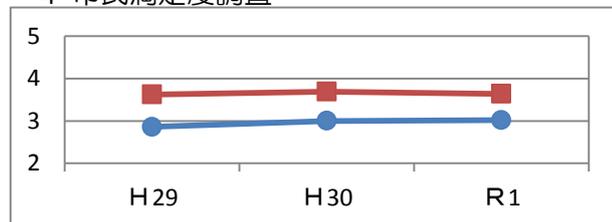
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
市公式ホームページアクセス件数	市ホームページの1か月あたり総アクセス件数	件	310,047(H28)	312,000	309,643
議会ホームページアクセス件数	議会ホームページへの年間アクセス件数	件	22,051(H28)	24,000	26,810
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における提案型の内容の割合	%	36(H28)	40	21

※一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.62	3.62
平成30年度調査	3.00	3.69
令和元年度調査	3.02	3.64

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	02庁舎の整備・行政サービスの充実
具体的取り組み例	住民票のコンビニ交付や窓口延長サービス，防災機能を備えた使いやすい新庁舎整備

1 総括評価

B	総括評価
	本庁では，平成30年12月に新庁舎が完成し，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営の推進を図っています。また，行政サービスの拡充に向け，マイナンバーカードの交付を促進し，証明書交付においてコンビニ等での利用拡大を図り，市民の利便性の向上に努めています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	個別施設計画に基づく庁舎の計画的な管理・運営や，市民のニーズに対応した，より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。

2 主要事業の概要

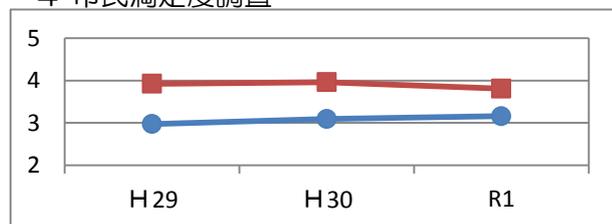
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	個別施設計画に基づき，計画的に管理・運営を行っていきます。
総合支所維持管理経費【支所総務課】	個別施設計画に基づき，計画的に管理・運営を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
コンビニ交付の利用率の向上	個人番号カードの保有率	%	11 (H29)	30	12.6

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.97	3.92
平成30年度調査	3.09	3.96
令和元年度調査	3.16	3.81

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	03地域情報化の推進
具体的取り組み例	情報システム基盤の最適化やセキュリティ強化，公共施設予約システムの構築

1 総括評価

	総括評価
	ウェブアクセシビリティ基準におけるウェブコンテンツJIS X 8341-3:2016に基づいた試験を行い，達成等級AAを達成しております。また，各種システム及び機器の安定稼働を年間を通して実施することができました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	石岡市地域情報化計画に基づき，国・県の計画と整合性を図りながら，システムのクラウド化等，新たな技術動向や社会情勢等を調査研究し，時代に即した効率的な行政運営を図るため，業務システムの最適化を目指します。

2 主要事業の概要

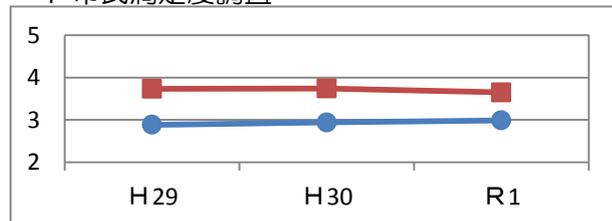
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
電算業務経費【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことにより，継続した住民サービスを可能とすると共に，クラウド化等新たな技術動向を踏まえながら，より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行なっていきます。
システム導入・推進経費【情報政策課】	情報資産等を保護し，信頼性のある安全な業務環境を構築し，継続して質の高い住民サービスを提供して行くため，継続してセキュリティ対策を実施していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
ウェブアクセシビリティ達成基準	ウェブコンテンツ「JIS X 8341-3:2016に準拠」の達成等級	等級	A (H29)	AA	AA
各種システム・機器の安定稼働	各種システム及び機器の安定稼働を継続します。	日	365 (H29)	365	359

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.88	3.73
平成30年度調査	2.94	3.74
令和元年度調査	2.99	3.65

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	04広域行政の推進
具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化，広域事務処理の見直し

1 総括評価

B	総括評価
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成28年3月に行方市，小美玉市，及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき，市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と連携を進めていきます。

2 主要事業の概要

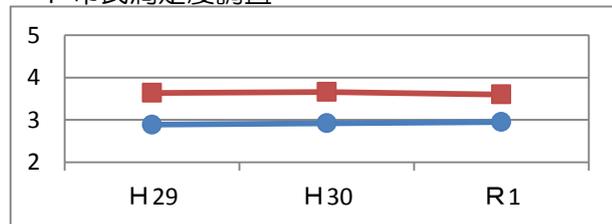
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
諸協会等関係経費【秘書広聴課】	各種協議会・協会へ加入を通じて，構成市町村との交流と連携を深めます。
霞台厚生施設組合負担金【生活環境課】	一部事務組合を組織し，構成市町の協力のもと事業を展開していきます。
広域行政の推進【政策企画課】	つくば霞ヶ浦りんりんロード推進協議会の設立など，新たな広域連携の取り組みがなされています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
新たな広域行政の取り組み	新たに広域行政の取り組みがなされた件数	件	0 (H28)	1	0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.64
平成30年度調査	2.92	3.66
令和元年度調査	2.95	3.60

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	05男女共同参画の推進
具体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施，男女共同参画セミナーの開催

1 総括評価

B	総括評価
	第2次石岡市男女共同参画基本計画に基づき，市民や事業所を対象としたセミナーの他，小中学生を対象とした出前講座を実施し，男女共同参画社会の実現に向けた理解促進に努めています。また，政策決定過程への女性の参画促進に全庁的に取り組んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	関係団体等と連携もしながら，市民・企業等に対する男女共同参画への正しい理解促進に取り組んでいきます。

2 主要事業の概要

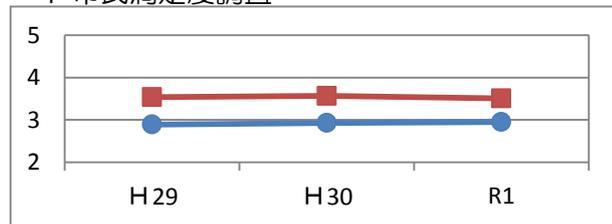
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
男女共同参画推進事業【政策企画課】	引き続き，男女共同参画への意識啓発事業を実施していきます。また，平成29年度中に策定した「第2次石岡市男女共同参画基本計画」に基づき，意識啓発に加え，男女がともに活躍できる社会環境の整備等に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	23.6 (H28)	30	23.7
石岡市男女共同参画基本計画の認知度	石岡市男女共同参画基本計画を知っている市民割合	%	12.0 (H28)	30	12.0
市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進状況	市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の割合	%	34.7 (H28)	50	34.7
性別による固定的役割分担意識を持たない市民の割合	「男は仕事，女は家庭」という考え方に賛同しない市民の割合	%	54.3 (H28)	60	54.3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.54
平成30年度調査	2.93	3.57
令和元年度調査	2.95	3.51

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	06国際交流の推進
具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援，外国人のためのハンドブック作成

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	市内の国際交流団体と連携し，施策を推進しています。平成30年度には外国人向け「多言語版防災ハンドブック」を作成するなど，外国人も安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市と市内国際交流団体が連携し，交流団体の活動を支援していきます。また日本人と外国人がともに安心して暮らせる共生社会の実現を図ります。

2 主要事業の概要

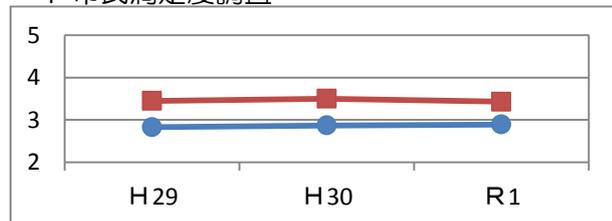
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国際交流事業【政策企画課】	市と市内の国際交流団体が役割を分担し，より効率的な国際交流の推進を図っていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
小学校における国際理解教室の開催数	民間団体と連携して実施した国際理解教室の開催数	回	0 (H29)	3	0
多言語版暮らしの便利帳の閲覧数	ホームページへのアクセス数	件	1,215 (H29)	1,500	1,384

4 市民満足度調査

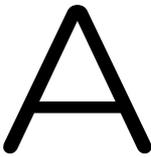


	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.83	3.45
平成30年度調査	2.87	3.50
令和元年度調査	2.89	3.43

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	07人材育成の強化
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上

1 総括評価

	総括評価
	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに、心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要とされる能力を育成するため様々な研修を実施するとともに、研修のための職員派遣を積極的に行います。職員の健康管理については、健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策に取り組めます。

2 主要事業の概要

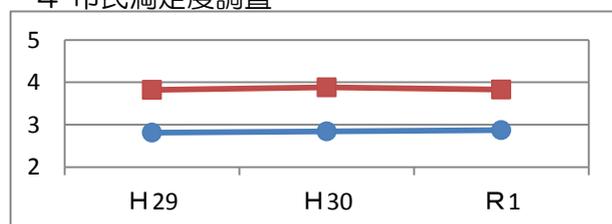
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
職員研修経費【総務課】	平成28年度より研修の効果を高めるために研修復命書とあわせて、研修をどのように活用したいか目標設定を立ててもらったり研修後のフォローアップアンケートを行っており、研修受講した後の業務の活用についての意識が向上しています。今後も研修内容を日頃の業務に活かす取組を行います。
職員福利厚生費【総務課】	職員の健診受診率の100%を目標とする一方で、要精密検査の該当職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制の充実やメンタルヘルス対策を強化していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
各種研修の受講者数	研修受講者の数	人	1,442 (H28)	1,545	1,647
研修復命で掲げた目標の達成率	研修復命で掲げた目標を「ある程度以上達成した人」の割合	%	81.9 (H28)	100	89.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.81	3.82
平成30年度調査	2.84	3.88
令和元年度調査	2.87	3.83

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	08行財政改革の推進
具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	石岡市行財政改革大綱のテーマである「行政資産の強化と公共サービスの最適化」を目指し、①財政運営の充実、②人財の強化、③協働によるまちづくりの推進、④行政サービスの最適化、4つの取組方針、46の実施項目を掲げ、庁内各部局の取り組み状況等を毎年進行管理しています。 平成30年度は46実施項目のうち、38項目実施中となりました。残りの8項目についても、スケジュールに沿って進められています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング方式による見直しを行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

2 主要事業の概要

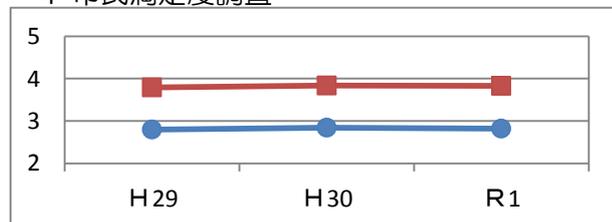
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
行財政改革推進事業【行革推進課】	第2次石岡市行財政改革大綱に基づき策定をしている石岡市行財政改革実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行います。
公共施設等総合管理計画推進事業【行革推進課】	石岡市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設利用者の安全・安心の確保は無論のこと、集約・統合等による適正配置や、民間との連携等による新たな事業手法の採用により財政負担の平準化を図ります。今後は、施設類型ごとの個別施設計画の策定が求められており、石岡市は令和元年9月までに全ての個別施設計画の策定を目指しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
石岡市行財政改革実施計画の実施事項	実施事項のうち取組み実施数	項目	-	45	38

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.80	3.79
平成30年度調査	2.84	3.84
令和元年度調査	2.82	3.83